同友ぐんま

同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶

2026年 11月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

一般社員からリーダークラスへのフェーズアップ

2026伸び盛り社員研修会

十月十四日（水）・十五日（木）の二日間、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎を会場に、入社三～五年目の伸び盛りな若手社員を対象とした「二〇二六伸び盛り社員研修会」を開催。受講者・同席者（経営者側）合わせて約四〇名が参加し、将来の会社を背負って立つ若手社員の役割、主体的な仕事や働き方、キャリアパスなどを学びました。

一日目は、自身の強みや課題を発見するための講義やワークをはじめ、前年度受講者による「課題解決モデル」の報告、あるいは「実践こそ大事」の講義などを踏まえ、受講者それぞれが具体的な課題解決策を検討。経営者と課題を共有し、その解決策を一緒に考える時間も盛り込むことで、より実践につながる内容となりました。



二日目は、事前に宿題として提起されていた「理想の組織・働き方」をもとに、グループワークと各社ワークでさらに内容を深掘り。また、「仕事を活かしたキャリアパス」「未来を描き今を動かす計画の作り方」の講義を踏まえ、五年を目安とした目標・行動計画を作成し、全受講者が力強い言葉で発表しました。

受講者が記した研修レポート&経営者側の感想（抜粋）を左記に掲載します。

【受講者】

○研修を通して自分の現状を知り、何が足りていないのかを考えることで課題が発見できた。仕事に対する意識を変えていく必要性を痛感した。

○社長と話しながら目標を立てたので、自分のやるべきことがわかった。まずは1年後の目標を確実に達成できるようにする。

○他業種の社員の話を聞ける貴重な機会。働き方やルールの違いなども含め、参考になることがたくさんあった。

○主体性を持つことの大切さに気づけた。今後は熱量を持って失敗を恐れず、行動して行くことを意識して仕事に臨みたい。

【経営者】

○研修生が自分自身の考えをしっかり持って発言できていたのは良かった。経営者としても新たな発見や学びがあったので今後に生かしたい。

○社員の気持ちに変化がみられて良かった。この研修会を本人はもちろん、会社のターニングポイントになるようにしたい。



戦略的採用の仕組みのつくり方

共同求人委員会



九月十五日（火）、高崎市総合福祉センターを会場に、共同求人委員会による「戦略的採用の仕組みのつくり方／第一回」を開催。企業の発展・継続に不可欠な採用活動について、講義やグループワークを通じて参加各社の現状や課題を交流し合いました。

共同求人委員の㈱プロタゴワークス、取締役・野尻浩美氏（高崎支部）が講師を務め、採用のベースとなる基本的な考え方や同友会の目指す企業づくり、採用市場の現状や学校教育の変化などを丁寧に解説。「採用活動は未来への投資であり、企業を発展させるための重要な事業の一つ。だからこそ戦略的に行う必要がある」と参加者に訴えました。また、講義の合間には「参加の目的」「求める人材像の明確化」「不足人材の検討」のワークシートをもとにグループで話し合い、採用戦略をまとめる上で重要な自社の考え方を深めていきました。

今回から始まった全五回にわたる本勉強会。自社の現状や課題を正しく理解し、効果的な戦略をデザインすることで、それぞれが抱える採用における悩みの解決をめざしていきます。

同友会と経営の魅力を語り合う

高崎支部９月例会



九月二十五日（金）、海鮮市場からっ風を会場に「高崎支部９月例会」を開催。今回は通常例会とは趣向を変えて「同友会と経営の魅力を本音で語り合う懇親会」と銘打ち、お酒を酌み交わしながら会員同士の親睦・交流を深める機会としました。

石井支部長の開会挨拶に続き、座長の坂間氏が本例会の開催趣旨を説明。今年度、高崎支部の重点方針にも掲げられる「懇親会で学びを実践へ」に則った企画であることが確認されました。

その後、山岸氏（群馬同友会相談役）に自身の経験をもとに「同友会の魅力」を大いに語ってもらった上で、声高らかに乾杯。参加者は事前に割り振られたグループで「自己紹介」「同友会に入会したきっかけと私が感じている同友会の魅力」「会社経営の魅力と自社の課題」をテーマに活発な意見交換を行いました。

高崎支部の例会企画として、久しぶりに開催された今回の懇親会例会。いつもより早い時間に飲み始めたこともあり、その後の二次会（会場＝ＬＯＬ・高木氏／高崎支部）でも同友会＆経営談義に花が咲きました。

り結束し充実した支部活動を展開していくことでしょう！

ダンケ・ナイト！～残暑をねぎらう夜～

富岡安中支部９月例会

富岡安中支部では九月二十五日（金）、富岡市内の「だん家」を会場に「ダンケ・ナイト！～残暑をねぎらう夜～」を開催しました。

参加者は揃いのハッピを着てお祭り気分を底上げし、佐藤支部長の乾杯で懇親会がスタートしました。今年の夏は雨も多く、残暑という言葉もさほど聞こえてきませんでしたが、食事を囲み、お酒も入ったダンケ・ナイトは熱気に包まれました。各テーブルで経営談義に花が咲き、当初の予定時間では収まらず、追加料金発生の延長戦に突入するほどの盛り上がりとなりました。

支部の仲間と酒を酌み交わし、親睦を深めた参加者は、よ



財務分析から見る未来

沼田支部9月例会



沼田支部では、九月十七日（木）、利根沼田文化会館を会場に支部例会を開催。㈱和多利合同事務所・代表取締役、山口勝氏（前橋支部）が、「決算書の見方～財務分析から見る未来～」をテーマに報告しました。

山口氏は、事前によせられた「価格決定／設備投資のタイミング／人財育成」といった具体的な悩みを提示し、それらが決算書のどこに現れるかを財務分析の視点から解説。価格設定における必要営業利益の算定や、固定比率・債務償還年数を指標とした設備投資の判断軸などを紹介しました。さらに「生産性の高い企業は高給与で推移する」という公式のもと、一人当たりの限界利益を高める職務能力と、感謝や信頼関係を重視する人格能力の両輪による人財育成の重要性を訴えました。また、年一回の決算にとどまらず、月次試算表を活用して数字をコントロールする必要性や実績検討会の構築が提案されました。

質疑応答・グループ討論では、人手不足や時給アップへの対応、事業承継や技術継承、業界固有の採算管理といった生々しい課題に対して活発な議論が交わされ、山口氏からも実践的なアドバイスが贈られました。

社会的養護　児童養護施設
里親家庭を出た後ってどんな感じ？

前橋支部9月例会



九月十六日（水）、アメイジンググレイス前橋を会場に「前橋支部九月例会」を開催。（一社）ヤング・アシスト（ヤング・アシストいっぽ）、事業所代表・山岸有香氏（前橋支部）が「社会的養護　児童養護施設　里親家庭を出た後ってどんな感じ?」のテーマで登壇しました。また、報告前には、山岸氏も委員として活動する障害者雇用委員会・石原委員長（富岡安中支部）より、同テーマを障害者雇用委員会が取り上げる理由が「人を生かす経営」の観点から紹介された上で報告に入りました。

山岸氏は、生活支援・就労支援をはじめ、出前講座セミナーや学習支援、医療・法律相談など多岐にわたる支援の一部を紹介。また、利用者が養護施設を出て就職先で働く際のハードルとして、孤独感や金銭感覚のズレといった具体的な課題を挙げ、周囲の理解と協力を訴えました。

報告終了後は「若者が『ここが自分の居場所だ』と感じ、長く働き続けられる職場（社風）とは、どのようなものだと感じますか?」をテーマにグループ討論を実施。参加者からは「長く従業員が働ける職場づくりを再考しようと思った」「会社が自分の居場所と思ってもらえるような環境を整える必要がある」など、さまざまな感想が出ました。

2026年　経営研究集会　哲学から行動へ　～何を守り、何を変えるか。信念を持って選べていますか?～



報告テーマ
『伝統と革新』
～世界で戦う日本酒造りの哲学～

報告者
永井 則吉 氏（永井酒造株式会社 代表取締役社長）

日付
2026 11/25 水
受付開始 12:00 / 開催 12:30～20:00
会　場　ビエント高崎 エクセルホール
基調講演　13:00～14:10
分 科 会　14:40～16:40

〝人を生かす経営〟の本質に迫る

伊勢崎支部9月例会（障害者雇用委員会合同）



九月二十九日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部九月例会（障害者雇用委員会合同）」を開催。「中小企業における障害者雇用とは?～〝人を生かす経営〟の本質に迫る～」と題し、二名の報告とグループ討論を通じて学び合いました。

報告①では、障害者雇用委員長を務める石原秀樹氏（㈱ヒルズ伊勢崎）が登壇。同友会における同委員会の歴史を辿りつつ、障害者雇用は「人を生かす経営の背骨であり、自社の課題を教えてくれる鏡である」と強調。「障害者のために整えた分かりやすい手順や仕組みは、結果として全社員が働きやすい環境につながる」と訴えました。

報告②では、副代表理事の佐藤茂樹氏（㈱山一製作所）が自社における障害者雇用の経営実践を報告。ひらがなを用いた手順書の作成や防音ヘッドホンの活用、重い部材を運ぶ作業（水すまし）の担当化などにより、職場の雰囲気改善やパート社員の負担軽減が図られた事例を紹介しました。また、各種制度や助成金を正しく活用することで「教育に時間をかけられる余裕」が生まれると述べ、「ハードルは思っているよりずっと低い」と力強く参加者に語りかけました。



その後のグループ討論では「誰もが働きやすい環境づくりにどう取り組むか?」をテーマに意見交換。「障害者雇用を特別なことと捉えず、自社の業務プロセスや教育体制を見直す絶好の機会と捉え直したい」「一人ひとりの可能性をどう引き出すかという経営者の姿勢が問われている」「取り組まない理由は数あれど、最終的には経営者自身の判断・決断。今回の例会が一歩踏み出すキッカケになれば」など、各テーブルで活発な議論が交わされました。



アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！
〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

『同友ぐんま（通常号）』広告募集
［広 告 料］2万円（一口×6回掲載）
［スペース］縦44mm×横87mm（一口分）
＊掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします
群馬中小企業家同友会・事務局
TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666

未来の仲間に魅力が伝わるメッセージを
Que Project inc. 合同会社キュー・プロジェクト
▸リクルーティングプランニング
▸デザインツール制作
https://que-project.co.jp

「俺がこうする」から、経営者としての一歩へ

太田支部9月例会

太田支部では、九月二十九日（火）、テクノプラザおおたを会場に支部例会を開催。「『俺がこうする！』から、経営者としての一歩へ～新社長として新たな挑戦～」と題し、㈲中島イーディーエム、代表取締役・中島純貴氏（同支部）が自身の事業承継と経営実践の歩みを報告しました。

前職の保育士からリーマンショック後の不況期に家業へ入社した中島氏。入社当初は「自分は何を作っているのか」「人の役に立っているのか」と葛藤する日々を送っていたといいます。しかし、コロナ禍という試練に直面し口数が減っていく父（社長）を見て、経営者としての自覚が芽生え、同友会活動へ自発的に参加し始めます。「同友会を使い倒そう」と学びを深める中で、創業者の父への感謝を実感し、「父と正面から向き合い対立する姿勢から、父の背中越しに仕事を見る感覚へと視点が変わった」といいます。また、それと同時に、その大きな背中を越えられるのかという不安に駆られたことも振り返りました。さらに「経営指針をつくる会」に参加し、経営理念を成文化したことで、自社の強み・弱みと向き合った方針実践により、大幅な業績向上を達成しました。





そして、本年四月に代表取締役に就任した中島新社長は「何があっても逃げない」という覚悟と責任を誓い、経営を愉しむことを宣言しました。

報告後のグループ討論では、「経営者として達成したこと、これから達成したいこと」をテーマに議論を展開。各テーブルで事業承継のあり方や経営理念の社内浸透、自社での実践や組織づくりについて意見交換が行われました。

【埼玉同友会会員】
みはし株式会社
50年分の在庫処分
アウトレットセール開催
モールディング・タイル・ピューラ・他
玉川工場 現地販売
▶埼玉県比企郡ときがわ町大字五明591
0493-65-2121
受付：月曜～金曜日 /10:00 ～ 16:00
応募フォーム
来場予約はこちら
tamagawaoutlet@mihasi.co.jp
メールでも24h受付中！

Geminiで自動仕訳
Googleの生成AIで中小企業の経理をサポート
KEEPERClub
同友会 高崎支部会員
株式会社 システラ 0120-638-377

あ、車が足りない！ そんな時の強い味方!!
スポット便から定期配送まで! 軽～4t車対応!
平・ウイング・パワーゲート車各種ご用意しております。
見積無料
お気軽にお問い合わせください
一般貨物運送業
有限会社 翔栄サービス
☎0270-64-2429 〒370-1104 群馬県佐波郡玉村町上福島752
URL: http://www.showei-service.com E-mail: showei@cameo.plala.or.jp

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス
用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）
プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期
株式会社 三栄工業
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896－2
TEL. 0278－20－1110 FAX. 0278－22－2102
URL http://kk-sanei.net/

生成AI×AIエージェント　変化する仕事の未来とは？

桐生みどり支部９月例会



九月十七日（木）、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生みどり支部九月例会」を開催。「生成ＡＩ×ＡＩエージェント　変化する仕事の未来とは？～指示を出す相手から共に働く相棒へ～」をテーマに、㈱六本木事務所、代表取締役・六本木直人氏（前橋支部）が、ＡＩがもたらすビジネス現場の変化や具体的な活用事例などを報告しました。

六本木氏は、生成ＡＩが単なる質問回答ツールから、目的を伝えれば自律的に仕事を完結させる「ＡＩエージェント」の時代へ進化していると指摘。そのデモンストレーションとして、メールで届いた請求書を会計ソフトへと自動入力する様子を披露しました。報告のまとめで六本木氏は、ＡＩを経営の相棒にするポイントとして「経営者に求められるのは操作の習熟ではなく、ＡＩに任せる仕事と人間にしかできない仕事の基準を判断し、業務の設計を行うことにある」と語りました。



参加者アンケートには「何をＡＩに任せるかをよく考え、業務効率化をすすめたい」「経営者としてＡＩとの接し方や向き合い方を改めて考える機会になった」「作業が自動化されるからこそ、信頼関係を築く人間の価値がより高まると思う」などの感想が綴られていました。

サラリーマン不適合者が辿り着いた非拡大経営

渋川吾妻支部９月例会



九月二十九日（火）、渋川市中央公民館を会場に「渋川吾妻支部九月例会」を開催。外構・エクステリアの設計・施工などを手掛ける㈱ローカルガーデン、代表取締役・小松崎真司氏（前橋支部）が「サラリーマン不適合者が辿り着いた非拡大経営～属人性特化型経営戦略と今後の業界展望～」をテーマに自身の経営体験を語りました。

小松崎氏は、安さだけが評価される前職時代の経験から、価格ではなく価値で選ばれるための「非拡大経営」に注力。顧客の暮らしに寄り添う「庭時間」をコンセプトに掲げ、子育て世代（同世代）への共感型提案で売上をつくってきました。今後については、コモディティ化が進む業界において「個人の信頼と属人性の追求こそが生き残る道になる」と強調。自身を「ガーデンコンダクター（庭の指揮者）」と位置づけ、地域に必要とされる価値を創造する決意を語りました。

報告終了後は「地域や業界に残したい本当の価値は？」をテーマにグループ討論を実施。参加者アンケートには「価値とは何かを深く考えられた」「前向きなアイデアと、それを実現する行動力が大事」「地域・業界への視点の重要性がわかった」などの感想が綴られていました。

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【訪問企業の仕事調査】

㈱アリサテック
㈱遠藤製作所

大泉高校は、大泉町の同校で企業訪問探求プログラムの事前学習会を開いた。10月の企業訪問を前に普通科の１年生40人が企業への質問を考えたり、仕事内容について調べたりした。

同プログラムは、働く人との対話を通して将来の生き方について考えてもらおうと初めて企画された。調べ学習など４回の授業を経て、近隣地域の企業10社を訪問する。

学習会には、共に協力企業で同町に工場がある㈱遠藤製作所（群馬工場工場長・伊藤真氏／太田支部所属）と、人材派遣などを手かける㈱アリサテック（代表取締役・佐藤ジゼレ氏／太田支部所属）の社員が見学に訪れ、生徒の学習の様子を見守った。

［９／19付上毛］

【熊本復興へ募金活動】

㈱群馬クレインサンダーズ

７月に発生した熊本地震を受け、バスケットボール男子Ｂリーグの㈱群馬クレインサンダーズ（代表取締役・阿久澤毅氏／太田支部所属）は、太田市のオープンハウスアリーナ太田で募金活動を行った。子どもから大人まで多くの人が被災地の復興を願い、募金に参加した。

この日はサンダーズのプレシーズンマッチが開催されたため、大勢の人が来場。試合前にサンダーズの辻直人選手と鶴巻啓太選手が募金箱を持って、協力を呼びかけた。集まった約５万円の寄付金は、Ｂリーグを通して被災地の各自治体に贈られる。

［９／22付上毛］

【社員の出身国応援】

㈱磯部ガーデン

ネパールと中国の国境付近で起きた土石流と洪水の被災者を支援するため、安中市磯部の㈱磯部ガーデン（取締役社長・櫻井太作氏／富岡安中支部所属）は、社内で集めた50万円をネパール政府宛てに送金し、寄付した。

運営する宿泊施設の社員のうち、ネパール出身者は外国籍別で最多の10人に上り、日本人を含む全体社員の１割を占める。「日頃から一生懸命に働き、会社を支える社員の出身国を応援したい」と櫻井社長が思い立ち、社内全体集会で寄付を呼びかけた。

［９／24付上毛］

【二輪車の安全願って】

冠稲荷神社ティアラグリーンパレス

二輪車の安全祈願の拠点となる「オートバイ神社」に、太田市細谷町の冠稲荷神社が県内で初めて認定され、24日に境内で鎮座祭を行った。県内外のライダーが参拝し、交通安全を祈った。自身もオートバイ愛好家の大塚嘉崇宮司（冠稲荷神社ティアラグリーンパレス・代表役員／太田支部所属）は「ライダーが気軽に立ち寄り、安全運転を意識してもらう場にしたい」と話している。

オートバイ神社は、一般社団法人日本二輪車文化協会が認定する神社。宗教的な目的でなく、安全祈願の場やツーリングライダーの休憩所となる、地域のランドマークを目指している。現在67カ所が認定されているが、本県にはなかった。

［９／25付上毛］

【館林で企業向け講座】

コミュニケーションサポート

企業の人材確保や雇用対策を知ってもらおうと、館林市と館林商工会議所などは、市役所で市内企業向けの講座「部下が育つ職場づくりとコミュニケーション」を開いた。企業の採用担当者ら24人が職場環境を円滑にするコミュニケーションの仕方を学んだ。

元日本航空国際客室乗務員の齋藤由起子さん（コミュニケーションサポート・代表／桐生みどり支部所属）が講師を務めた。部下が育つための上司の役割は、一方的に教えることではなく、環境づくりにあると指摘。その上で、人それぞれ判断基準には違いがあると強調し「『お互いさま』の気持ちで、細かく言語化することが重要」と呼びかけた。

［10／３付上毛］

【企業連携　群馬盛り上げ】

㈱群馬クレインサンダーズ

まちの笑顔を増やそうと、スーパーのとりせんとプロバスケットボールチーム運営の㈱群馬クレインサンダーズ（代表取締役・阿久澤毅氏／太田支部所属）、県内に製造拠点を置く飲料大手のサントリーグループは５日、共同のキャンペーンを６日に開始すると発表した。とりせんでサントリーの飲料や酒類を購入すると、抽選で同チームの観戦チケットなどが当たる。各企業で連携して地域を盛り上げる。

キャンペーンは12月15日まで。とりせんの店舗で対象商品を含む２千円以上の買い物をすると、VIPルーム観戦招待券（10組20人）やサイン入りレプリカユニホーム（５人）、とりせんカード２千ポイント（100人）が当たる。とりせんアプリ会員限定。

［10／６付上毛］

【障害者の積極雇用　優良企業を表彰】

㈱吉田製作所

県と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構群馬支部は９日、県庁昭和庁舎で、障害者雇用に積極的に取り組む企業をたたえる県障害者雇用優良企業の表彰式を開いた。県知事表彰の６事業所、同機構の理事長表彰と理事長努力賞の各１事業所が表彰された。

障害者雇用を促進しようと、県と同支部が毎年開催。受賞事業所は次の通り。

▽県知事表彰　㈱吉田製作所（代表取締役・羽柴孝之氏／太田支部所属）※会員のみ抜粋。

［10／10付上毛］

【地域清掃100回達成】

石川建設㈱

総合建設業の石川建設㈱（支店長・石川貢氏／太田支部所属）が取り組む地域清掃「社会感謝デー」が、100回に達した。社員が職場や建設現場周辺の一斉清掃を展開した。

社会感謝デーは、地域の一員として環境について考え奉仕しようと2001年12月に始め、３カ月に１回実施している。

節目の清掃の前に、本社で記念式典を実施。石川社長は「25年も続いたのは素晴らしい。地域の皆さまから石川建設で良かったと言われる会社を目指す」と述べ、参加者をねぎらった。

［10／14付上毛］

【働くイメージ学生に】

共愛学園前橋国際大学
しののめ信用金庫

県内就職の促進に向けた県内企業と大学生の交流イベント「ぐんま若者シゴトーク」が15日、前橋市の共愛学園前橋国際大学（学長･大森昭生氏／前橋支部所属）で開かれた。同大国際社会学部心理・人間文化コース１年の75人が県内５社の採用担当者と同大卒業生の説明で働くイメージを膨らませた。

両毛システムズ、しののめ信用金庫（理事長・横山慶一氏／富岡安中支部所属）、群馬トヨタグループ、高崎共同計算センター、赤尾商事が参加した。業務内容や福利厚生、仕事の向き合い方などを伝えた。学生から「仕事のやりがいは何か」「選んだ理由は」といった質問が出ていた。

［10／16付上毛］

【会員登録変更】

フジセン技工㈱（太田支部所属）は、この度、「代表取締役社長・木下友氏」に会員登録を変更しました。

第6回 理事会報告

日時　十月六日（火）
※今回も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／町田、杉﨑、佐藤、**理事**／小板橋、山﨑、関口、石原、茂原、佐藤、周藤、齋藤、石井、諏訪、平野、桑原、大川、鈴木、岡田、小柴、**事務局**／阿久澤、竹内、佐藤（役員計十九名）

【議　事】
佐藤副代表理事が議長をつとめ、杉﨑代表理事挨拶のもと、第六回理事会開会。

Ⅰ．報告連絡事項

1．各支部・部会・委員会等の案内報告
各組織担当者より、活動報告や今後の計画、依頼事項などがありました。

2．その他
①九月十一日開催「関東甲信越ブロック代表者会議（長野）」参加報告
②十月一～二日開催「第五四回青年経営者全国交流会in宮城」参加報告
③十月二二～二三日開催「中同協役員研修会（山形）」参加案内
④十月三〇日開催「関東甲信越ブロック支部長交流会（神奈川）」参加案内

Ⅱ．審議・承認事項

1．関東甲信越　経営労働委員会カンファレンスin千葉について
小板橋経営労働委員長より、これまで有志で開催されてきた同カンファレンスが千葉同友会主催で開催されることが報告され、それを受けて「複数同友会の合同行事」として群馬同友会も協力することを確認しました。

2．二〇二六経営研究集会の役割分担・プログラムなどについて
茂原実行委員長より、経営研究集会の役割分担やプログラムなどについて提案があり、これを承認しました。また、各支部参加状況や分科会別参加状況、グループ長候補選任などの依頼事項が確認されました。

3．新年度の理事選考スケジュール確認と推薦依頼について
新年度の理事選考スケジュールが確認されるとともに、各組織へ理事候補者の推薦依頼がありました。

4．入退会者承認と仲間づくりについて
前回理事会以降の入会者二名、退会者三名を承認。会員数は四九九名となりました。
また、今年度支部別入退会率・例会参加率などの資料が事務局より紹介されました。

Ⅲ．意見交換（共同求人委員会企画）
関口共同求人委員長による「キャリア教育の必要性」の問題提起を受けて「同友会として、それぞれの会社として、何ができるでしょうか?」をテーマにグループ討論を実施。地域の学校からの期待や協力依頼に応える組織づくりや未来を語れる会社づくり、社員の自己実現や愛社精神・地元愛の醸成など、さまざまな視点から活発な意見交換が行われました。

Ⅳ．その他

1．次回理事会の開催確認
次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長は小林副代表理事が担当することになりました。
■日時／十一月四日（水）
■会場／同友会事務所
＋ウェブ（併用）

新会員ご紹介

10月度常任理事会承認
会員名簿追加録（順不同・敬称略）
企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

高崎支部

㈲高崎保安機材
〒370-0883　高崎市剣崎町113
TEL：027－344－1811
FAX：027－344－0970
工事現場や工場の保安用品の製造・販売・レンタル・施工



取締役
陳　泰宗
H７年生

【紹介者／守口　智】
高崎市剣崎町で、工事現場や工場などで必要な保安用品・製造・販売・レンタル・施工を行っています。会員の皆様の豊富な経験や知識から経営について学び、自身の成長とより良い会社づくりにつなげたいと思います。よろしくお願いいたします。

太田支部

㈱スマイフ
〒373-0815　太田市東別所町303-6
TEL：0276－55－8413



代表取締役
稲葉祐司
S49年生

動画（企画・製作）、SNSコンサル
運動・車・バイク・旅行
【紹介者／阿久戸英男】
SNSやウエブ動画の企画・制作を行っています。同友会を通じてさまざまな業種の皆さまと交流し、新しい考え方や価値観に触れたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

